

緊急号外



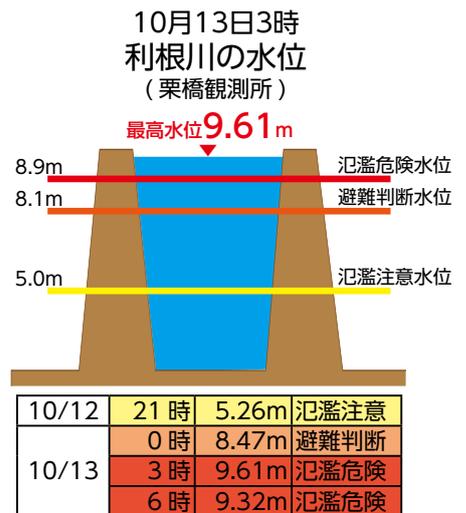
令和元年広報古河11月号 緊急号外

台風19号 真夜中の緊急避難！ ～目の前に迫る決壊の危機、あなたの行動は～

10月12日に関東・東北地方に記録的な大雨をもたらした台風19号。市内の降水量は220mm程度でしたが、利根川上流域では平均で310mm程度、多いところで500mmを超えました。

その結果、利根川・思川で氾濫危険水位を超え、堤防が決壊する恐れがありました。利根川が決壊すると、市内の半分近くが浸水するほか、決壊地点付近では多くの家屋が倒壊する大災害を引き起こす可能性があります。

今回の出来事を教訓に非常持ち出し品の準備や避難先の確認など、日ごろの備えと早めの避難を心掛けましょう。



なぜ深夜にサイレンが鳴り、緊急避難となったのか？



利根川に氾濫の恐れあり

10月12日に台風19号が関東地方にもたらした大雨により、13日の早朝に利根川で越水が発生する可能性があるとの情報が利根川上流河川事務所からありました。

このため、市民の皆さんが朝までに避難を完了できるよう、深夜でしたが警戒レベル4(避難勧告、避難指示など)を発表しました。



深夜に鳴り響いたサイレン

利根川が氾濫し堤防が決壊した場合には、多くの人命に関わる大災害が予想されます。今回は、深夜の避難勧告・避難指示であったため緊急情報に気付かない人が多いと考えました。そこで、できるだけ多くの人に事態の重大性・緊急性を伝えるため、最も効果的であるサイレンを鳴らし続けました。

～私たちは「いつ」避難すれば良かったのか～



ハザードマップで浸水地域と避難所を確認しましょう



利根川



渡良瀬川・思川

いざという時、避難所に行く準備はできていますか



持ち出し品

- ・家の備蓄品は大丈夫？
- ・家族との連絡先は？
- ・避難する際にプレーカーを下げましたか？

市アプリで情報収集を



市アプリ



iOS用



Android用

緊急情報を
プッシュ通知
配信します

市民の命を守ることを第一に！

台風19号では、利根川上流域での大雨により水位が急激に上昇し、越水・氾濫の危険性が非常に高くなりました。洪水の危機が迫っているとき、第一に守らなければならないのは市民の皆さんの命です。

水害時、自身の命を守る最善の行動は避難しかありません。そのため、深夜遅くの避難指示や防災無線のサイレンの吹鳴を行いました。その結果、1万を超える人に避難をしてもらいましたが、浸水想定地域内の人口(約10万人)を考えると、まだまだ少ないのが現実です。今回のことを教訓に、水害が起きそうなときは早めの避難を心掛け、どのような行動をとるべきかもう一度考え直していただきたいと思います。

最後に、夜遅くの避難広報に協力していただいた自治会・行政区や消防団の皆さん、緊急事態に備えて万全の準備をしていただいた自衛隊・警察署・消防署の皆さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



古河市長 針谷力